

第 3344 回例会 (令和 4 年 2 月 9 日・水)

今週のプログラム

2月9日(水) 会員スピーチ

「建設業の現状とこれから」

清水建設(株)松江営業所長 にっこうてつや 日光哲弥氏

次週のプログラム

2月16日(水) ゲストスピーチ

「島根大学における入試、入学後教育、就職支援の新たな取り組み」

国立大学法人 島根大学 ひろみついちろう 大学教育センター長 廣光一郎氏

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
2月10日(木)	松 江 東	ホテル一畑
2月14日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
2月15日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
2月17日(木)	松 江 東	ホテル一畑
2月21日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
2月22日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更(ビジター受付なし)もごさいますので事前に事務局へ確認願います。

2022年2月の予定

2月9日(水) 松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブとの合同例会(オンライン)
12時30分~13時15分(短縮例会)

※ 2月23日(水) 祝日の為、例会なし

第3343回例会記録

令和 4 年 2 月 2 日 (水・曇り) 完全オンライン例会

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	65	47	18	81.03	83.33
衛星クラブ	10	4	6	40.00	—

ビジター: なし

メーキャップ: 内海、艸葉、菅野、櫻井、原田、藤原(オンライン)、長岡(理事会)

会 務 報 告

小林会長

- ゲストスピーカー紹介
松江市議会議員 なかむら 中村ひかり様
- 松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ認可について
1月12日RI理事会認可を受け1月24日RI日本事務局より連絡がありました。
名称: 松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ
月1回は単独例会、1回はスポンサークラブと合同で例会を開催します。
よろしくお祈りいたします。

景山幹事

- 先ほど小林会長からお話のとおり松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブが認可されました。今後、衛星クラブもスポンサークラブの例会に出席したり、一緒に活動することになりますのでよろしくお祈りいたします。
- 確定申告用領収書について
米山記念奨学会からは届いております。財団から

届き次第、一緒に郵送しますのでしばらくお待ち下さい。

- 例会終了後、オンライン理事会を開催します。理事の方はオンラインのままお待ちください。
- 誕生日と、出席100%賞はオミクロン感染拡大の為、お届けできませんのでホテル一畑フロントまで取りに来ていただくと喜びます。

委 員 会 報 告

- 木村俊一郎会場監督
本日の出席率はZOOM参加リスト確認後、事務局よりメールでお知らせします。

プ ロ グ ラ ム

「境遇は自らつくる」

松江市議会議員 なかむら 中村ひかり氏



ニコニコ箱

10,000 円

松江東（合同例会のZOOM機材拝借のお礼）
小林（①中村さんのスピーチ楽しみにしています。②衛星クラブ認可されました。ご協力ありがとうございました。）
錦織、木村（中村さんのスピーチを楽しみにしています。）
事務局島村（1月27日の合同例会で4クラブ事務局が2年ぶりにリアルで会いました。皆さんお元気でした。）

ベストメッセージ賞：該当者なし
司会 木村俊一郎会場監督

【2月オンライン理事会報告】

承認事項

- ・1月27日の合同例会の出席率の件
オミクロン株感染拡大下の開催につき、人数制限開催の為、各クラブ100%とする。
- ・3月13日のIMについてホストクラブの出雲RCからオミクロン株感染拡大の為、開催、登録料等々について協議中。決定次第お知らせあり。
- ・2月9日の例会についてはオンライン例会とする。
- ・2月16日の例会については改めて協議後、お知らせすることとする。

連絡事項

- ・衛星クラブ認可の件
- ・石倉貞昭ガバナーノミニエ事務所は千鳥町シジミ館

ひとこと
随想

堀川パレードと遊覧船



にしむら やすし
西村 康

先ごろの新聞（山陰中央新報2022年1月8日）によれば、観光業界の専門誌で「松江の堀川遊覧船」が全国で6位の評価を得て、今や松江の観光の大きな目玉となりました。

昔、青年会議所（JC）で企画・実行していた夏祭り「松江だんだん祭り」が1985年に10周年を迎え、この祭りの事業部長を任された私は10周年の記念事業として「堀川時代パレード」を企画しました。それまで、JCでは長い間堀川の再生・利用に取り組んできましたが、その集大成として初めて堀川を使ったパレードを実行したのです。



堀川に20艘ほどの装飾した漁船を浮かべ、公募に応じて参加した市民の皆さんが山中鹿之助、堀尾吉晴、不昧公、小泉八雲などのたくさんの歴史上の人物の衣装を着て乗船し、北堀橋から塩見縄手、西堀川を通して京橋までパレードし、両岸に詰めかけたたくさんの市民の皆さんから堀川のすばらしさと松江の歴史や文化を再認識したと喝さいを浴びました。

その準備として、堀川の水に胸まで浸かってごみや廃棄物の除去と通行の可能性を確認し、県庁

横の道路下の暗く長い暗渠にこわごわ入って行って急に飛び出してきた鳩の群れに驚かされたり、農業用水確保のために船の通行の障害となっていた水門を開けるために各方面に陳情し、時代衣装を京都から取り寄せ、舟の両脇に取り付けて提灯をつるした金具を低い橋の下を通るために船縁に倒せるように何度も作り直したりなど・・・、JCメンバーの総力を結集してこのパレードは大成功を収めました。

橋の下を通過するために金具を倒す工夫はその後の遊覧船の屋根を倒すアイデアにつながりましたし、通行の邪魔だった水門の撤去・移設が数年後に実現したことにより堀川を一周することが可能になり今の遊覧船のコースとなりました。また水門がなくなって宍道湖のきれいな水が一年中流れ込むことになり堀川の水質の浄化に役立ちました。

また、福岡県の柳川、滋賀県の近江八幡、アメリカのサンアントニオなどに遊覧船や水辺の利用方法の視察に行き、松江の堀川は観光資源としてどこにも負けない貴重な財産だと確信を深めました。

その後1993年10月に激烈な選挙を経て宮岡寿雄さんが市長に当選された時、私は選挙公約の立案を担当し、公約の大きな柱としてこの「堀川遊覧船」を提案したところ「おもしろくないか！」と大賛成して頂き、当選後の宮岡市長の強力な実行力で1997年7月にこの事業が開始されたのです。

37年前に堀川時代パレードを始めたころのことを思い出し、この私たちの提案から堀川遊覧船が実現し、今の人気と発展を見るのは本当にうれしい限りです。

早くコロナが終息し、もっともっと多くの観光客が松江を訪れ、堀川遊覧船で松江の良さを満喫していただく時代が再びやってくることを心から祈っています。
(金物販売)